

「スライダーボード」の性能試験

(発行番号: 第15 A 1125)

この欄に掲載する報告書は依頼者の了解を得たものです(抜粋・編集して掲載)。

試験名称	「スライダーボード」の性能試験			
依頼者	株式会社 ダイサン			
試験項目	静止摩擦係数算出試験, 疲労試験			
試験体 (依頼者提出資料)	試験体記号	主な構成材 mm	試験体数	
	SB-0.4R	寸法: 上側; 500×404×3.8, 下側; 540×404×3.8 材質: ポリアセタール樹脂	1セット	
(注) 試験体は, 1004×404×3.8のものを切断して, 上記寸法とした。 参照: 図1(試験体), 写真1及び写真2(試験体)				
試験方法	概要	写真3に示すように, 反力架台上にすべり止め, 試験体(下側), 試験体(上側), すべり止め, 鉛直荷重用加圧板, おもりの順にそれぞれ設置した後, 鉛直荷重用加圧板に, 一方向の水平荷重を加えた。なお, 加力は鉛直荷重用加圧板の変位δが0.5 mmを超えるまで行った。鉛直荷重は, 鉛直荷重用加圧板及びおもりの重量とし, 2.07, 3.60, 5.25, 9.16 kNの4条件について, 加力速度は, 0.02, 0.1, 0.5 mm/secの3条件について, 各3回加力を行った。ここで, 各加力は, 変位δについて任意の位置より行った。また, 上記試験は疲労試験前(初期状態)と疲労試験後の2回実施した。		
	疲労試験	初期状態における静止摩擦係数算出試験終了後, 変位δの振幅を±10 mmとした, 三角波による正負繰り返し加力試験を行った。なお, 鉛直荷重は9.16 kNとし, 繰り返し回数は, 5000回とした。また, 加力速度は, 2000回を超えるまでを20 mm/sec, 以降5000回までを10 mm/secとした。		
	加力装置	100 kN 自動コントロール式加力試験機(ロードセル容量: 20 kN)		
測定装置	電気式変位計(容量: 50 mm, 感度: 200×10^{-6} / mm, 非直線性: 0.1 %RO)			
試験結果	試験体記号	試験項目	静止摩擦係数	全試験終了後の試験体状況
	SB-0.4R	疲労試験前(初期状態) 静止摩擦係数算出試験	0.15	-
		疲労試験後 静止摩擦係数算出試験	0.27	試験体(上側及び下側)におけるすべり面格子部の摩耗
(注) 静止摩擦係数は, 各鉛直荷重及び各加力速度における全ての試験結果を基に, 最小二乗法により算出した原点を通る直線の勾配とした。 参照: 図2(荷重-変位曲線及び荷重・変位の時刻歴波形の代表例), 図3(最大水平荷重と鉛直荷重の関係) 図4(最大水平荷重と繰り返し回数との関係), 写真4(全試験終了後の試験体状況)				
試験期間	平成27年 6月 23日			
担当者	構造グループ 統括リーダー 室 星 啓 和 統括リーダー代理 伊 藤 嘉 則 主 幹 守 屋 嘉 晃 中 里 匡 陽 (主担当) 林 健 太			
試験場所	中 央 試 験 所			

新400100038R

製品寸法±1.5

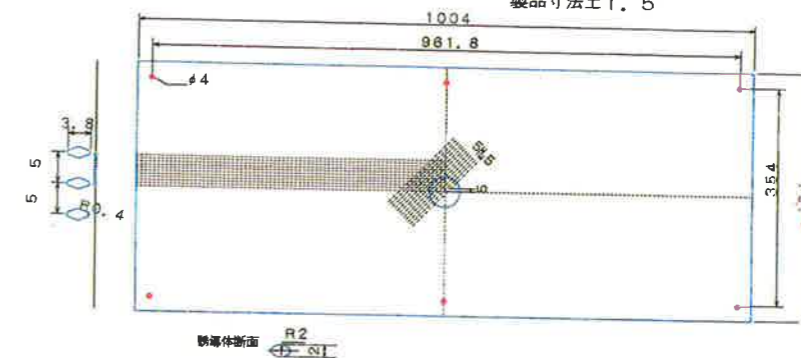


図1 試験体(切断前)

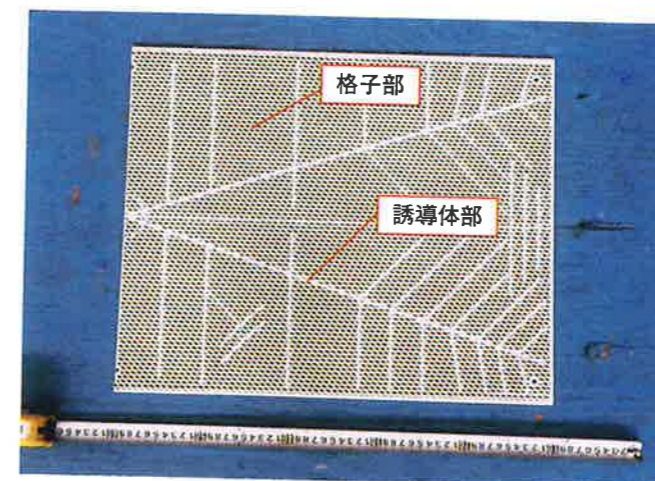


写真1 試験体(上側)

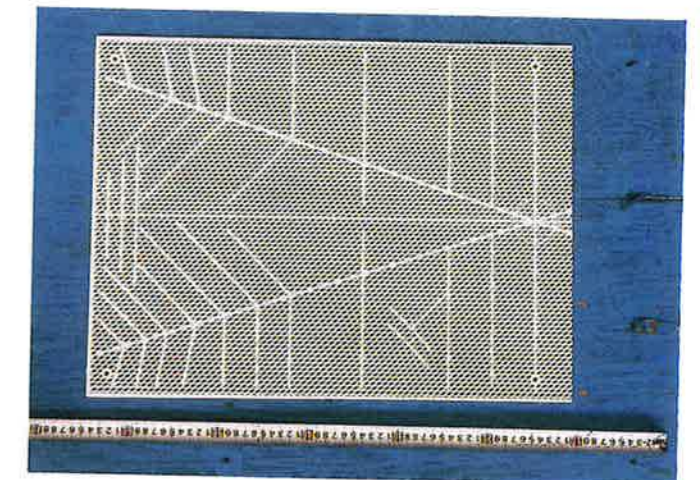


写真2 試験体(下側)

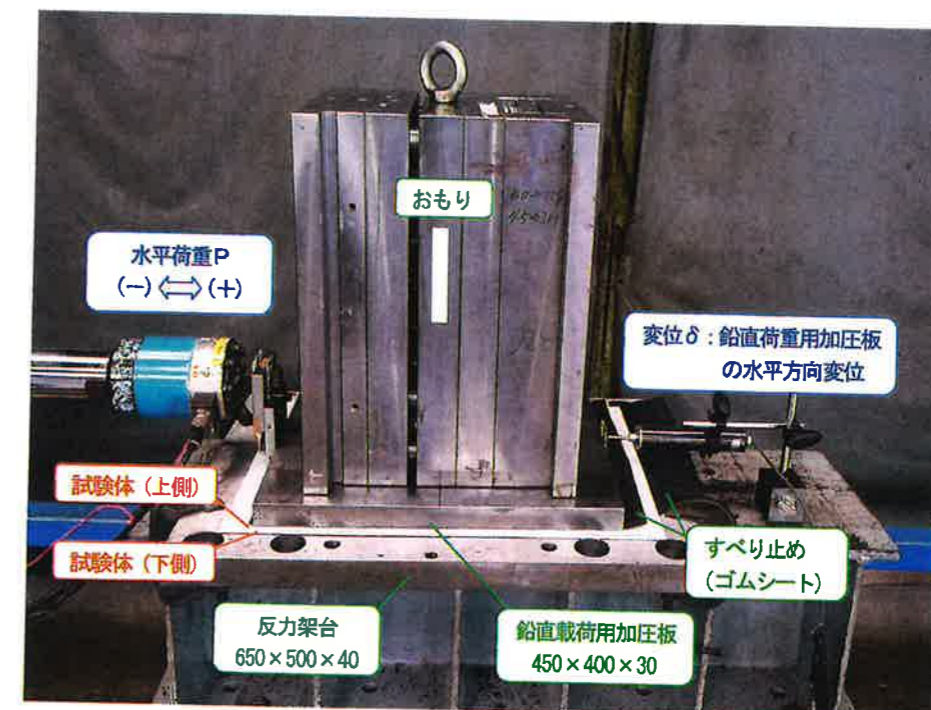


写真3 試験実施状況(鉛直荷重: 3.60 kN時)

試験結果報告書

申請年月日 令和 4(2022)年 11 月 1 日
申請者 (企業名) 株式会社ダイサン
申請者住所 栃木県 足利市 小俣南町 15-16
提出品名 スライダーボード

試験の結果は下記のとおりです。

令和 4(2022)年 11 月 2 日

栃木県産業技術センター
所長 関本 充博



記

1. 試験方法 : 申請者指定による方法
専用治具(φ120mm)を使用して試料に 274kN の圧縮荷重を加え、変位を求めた。
2. 使用機器 : 万能材料試験機(500kN) (YU-500S5 東京衡機試験機)
3. 試験結果

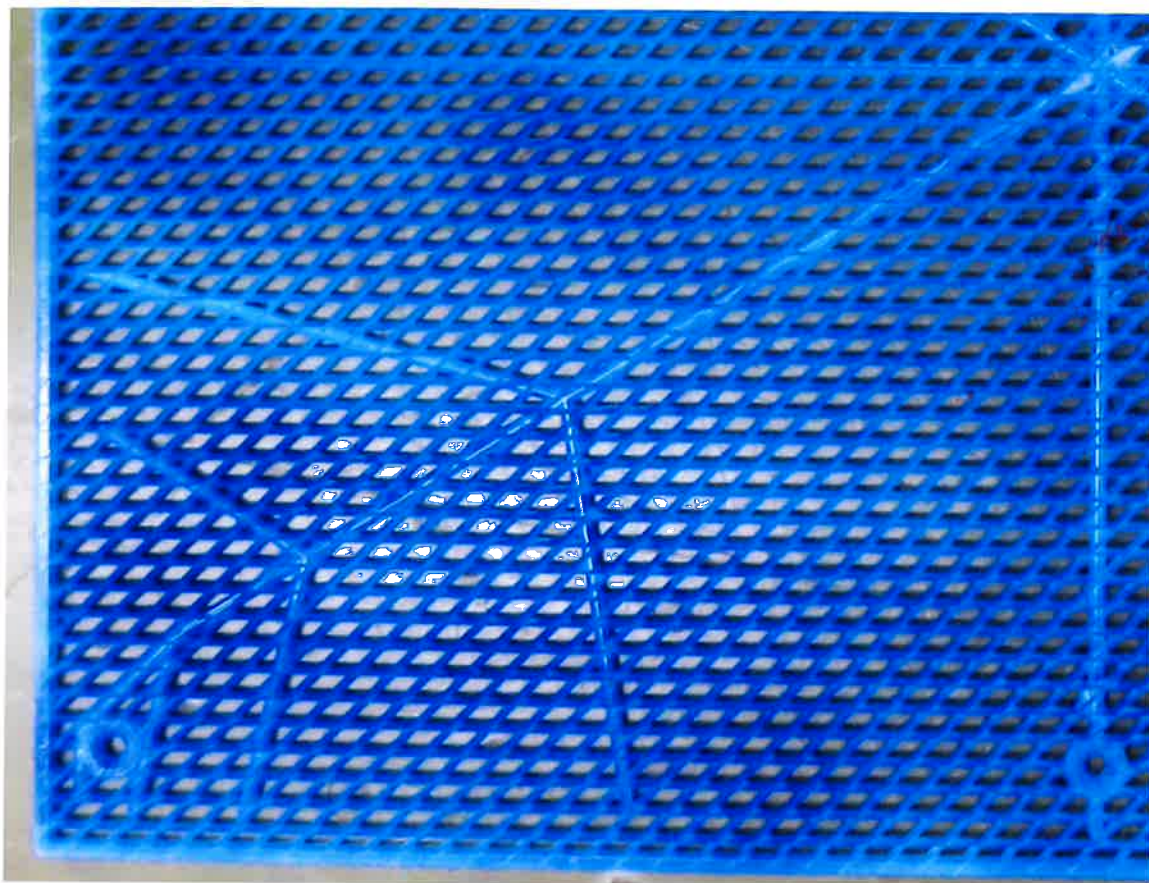
試料名	最大試験力 kN	変位 mm
スライダーボード	274	1.52

備考

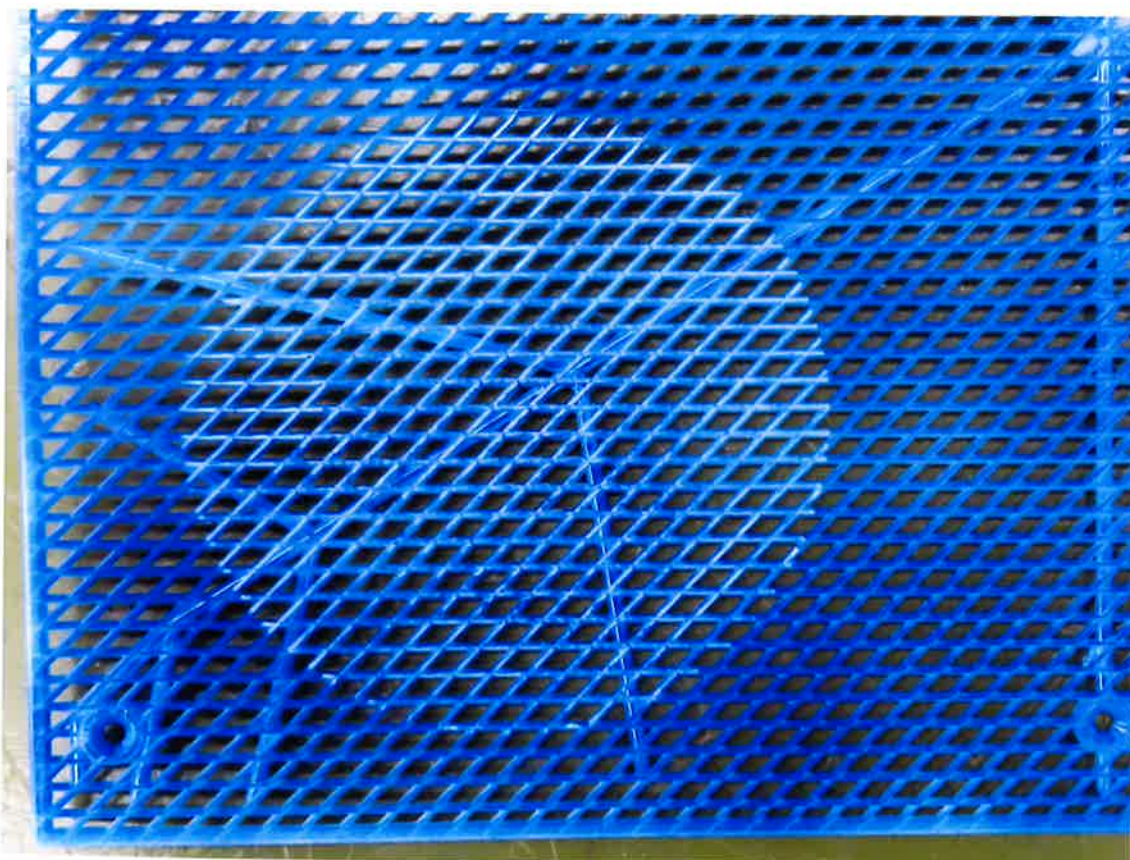
試験前後写真: 別添図1のとおり

以上





試験前



試験後

群馬県立産業技術センター試験等結果通知書

技セ第2303- 号
平成30年12月18日

株式会社ダイサン 様

群馬産業技術センター所長

平成30年12月 1日 依頼のあった 疲労試験（引張圧縮/ねじり疲労試験機による試験、一般のもの）の結果は、次のとおりです。

供試物品名

スライダーボード

・圧縮擦り試験を行ったところ、以下のとおり

サンプル	試験前厚さ (mm)	試験後厚さ (mm)	差 (mm)
太	3.925	3.883	0.042
細	3.754	3.711	0.043

試験片の形状：供試品のとおり（加圧面積 Φ50）

試験機器：引張圧縮/ねじり疲労試験機 (EHP-EM100kN/TM1kNM/島津製作所)

試験条件：擦り回数 1 万回

速度 20Hz、10°

垂直荷重 50t/m² (0.5t/100cm²)

(参考写真)

結 果



試験前

試験後

試験状況

摘 要

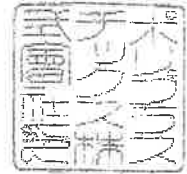
上記の試験結果は、提出試験品についてのみの結果です。

※当センター名を使用して本結果通知書の内容を広告物その他に記載しようとする場合は、あらかじめ当センターの承認を受けてください。

株式会社ダイサン御中

スライダーボード

ポリプラスチックス株式会社
品質保証部



RoHS 指令適合証明書

拝啓、貴社益々御清栄の段、お慶び申し上げます。平素は、弊社製品を御愛用頂き、厚く御礼申し上げます。

下記の製品は、改正 RoHS 指令 2011/65/EU 及び その追補指令 (EU)2015/863 に適合しており、以下の制限物質をその閾値を越えて含有しないことを証明します。

敬具

記

樹脂	グレード	色番
ジュラコン®	JW-03	CF2001

制限物質

	閾値
1. カドミウム	: 0.01%
2. 鉛	: 0.1%
3. 水銀	: 0.1%
4. 6価クロム	: 0.1%
5. ポリ臭化ビフェニル (PBB)	: 0.1%
6. ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	: 0.1%
7. フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)	: 0.1%
8. フタル酸ブチルベンジル (BBP)	: 0.1%
9. フタル酸ジブチル (DBP)	: 0.1%
10. フタル酸ジイソブチル (DIBP)	: 0.1%

以上

※DURACON®, ジュラコン®は、ポリプラスチックス株式会社が日本その他の国で保有している登録商標です。